

---

# いつものおばさん

坂田火魯志

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ  
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。  
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者また  
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ  
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範  
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し  
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

いつものおばさん

### 【Zコード】

Z8512S

### 【作者名】

坂田火魯志

### 【あらすじ】

某国の絶叫系ニュースキャスター。日本では有名な人物だが急  
に姿を見なくなりだ。日本人達は何を思ったか。SmileJapan  
企画作品です。あの国のいつも出て来る人を書かせてもらいました。

## 第一章

いつものおばさん

「我が国を害せんとする悪辣なる狼の如き」

「おお、またこの人か」

「この人なんだな」

日本人達はだ。ある国ニュースキャスターがテレビに出るとだ。いつも妙に楽しそうな声をあげるのだった。それは何故かというとだ。

その強烈な個性故にだ。非常にヒステリックな喋り方で過激といふか不自然な形容詞を多用するそのキャスターは最早日本の誰もが知っていた。名前は知らなくともテレビを出ればああの人か、と氣付く様なのだ。そんな人である。

そのキャスターの母国も非常にユニークというかその存在 자체がある意味においてネタというような国だがこのキャスターの人もだ。ネタという意味で非常に人気がある。そしてこの人を見てである。日本人達は喜ぶのだった。

「相変わらず無茶苦茶なこと言つてるよな」

「日本語に訳するのも大変だよ」

「けれど観てないと妙にな」

「面白いんだよな」

何しろこの国のキャスターは本当にこの人しかいないのではないとかと言う位出て来るのだ。それで知られない筈もない。しかも個性といううえでは申し分ない。日本人の下手なキャスターより有名であり人気者になってしまっている。だが、であつた。

急にだ。このキャスターが出て来なくなつたのだ。もう一人いるだ。痩せた男の人ばかりが出るようになつてしまつた。そうなるとだ。

日本人達は妙に寂しいものを感じた。いつもその奇妙な国の報道

になると出て来て奇声を喚くユニークな人が出て来ないとだ。妙な寂しさを感じざるを得なかつたのである。それでこんな話がネット等で出た。

第二章

死んだのが？」

一  
病氣か？

- 素晴されたのが？」

「一体どうなつたんだ?」

本当にどうなったのかだ。心配する言葉をえ出てしまっていた。  
それでどうなったのか話題になっていた。

あんな目にあらうな

「」

「死んごか？」

「卷之三」

「歴史小説」

井戸で心配して

本氣で心配していた。他の国の人間でもござる。それでござつた。

彼等はその特異なキャラクターを見られずだ。どうにも寂しいものを感じるのだった。しかし彼等には何もできず不安さえ感じているとだ。急にだつた。

またそのニュースキャスターがテレビに出て来た。そのうえでまた絶叫した。内容は日本を罵倒するものだがそれでもだ。日本人達は安心した顔で言つのだった。

「やつぱりな。あの人が出でくれないとな」

「この絶叫と顔を見ないとなん

「寂しくなるよな」

「この変態的な罵倒と絶叫」

闘ひてると奴は瘤になる力がある

こう話してだった。彼等はだ。その再登場を心から喜ぶのだった。

日本を罵倒しているがそれでもだ。あまりにも強烈なキャラクター  
故に親しまれるのだった。

いつものおばさん 完

2011・4・29

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8512s/>

---

いつものおばさん

2011年10月3日00時07分発行